

## （一社）表面技術協会／第64回『ナノテク部会』研究会

### テーマ：異種界面制御による材料の高機能化技術

材料の高機能化を実現させるためには、複数の材料を組み合わせた複合材料の創製や材料そのものに含まれる異種元素等を制御する必要がある。このような技術を実現させるには、異種界面を制御するための技術開発が重要となる。例えば、基材表面に高密着性の皮膜を形成させるためには基材と皮膜の界面を制御する必要がある。また、金属材料中の溶質原子を制御することで、金属材料の機械的特性を改善することも可能である。このように、異種界面の制御により、既存の材料を高機能化させることができる。

本講演では、異種界面を制御することで材料を高機能化するための手法やその機能化した表面の物理的・化学的特性を評価する手法に焦点を当て、下記の3名の講師の方々よりご講演をいただきます。

主 催：（一社）表面技術協会・ナノテク部会

協 賛：（社）日本表面科学会、日本フラックス成長研究会、日本結晶成長学会新技術・新材料分科会、信大 AGENDA

日 時：平成27年2月15日(水) 13:30～16:00

会 場：東京ビッグサイト(SURTECH 会場内講演会場) 東4 ホール入口横  
(<http://www.bigsight.jp/general/access/>)

### プログラム

13:30-14:15 光応答性カーボンナノチューブ分散剤

産業技術総合研究所 松澤洋子

14:15-15:00 結晶粒界を含む複数の核生成サイトを考慮した数値解析モデルによるアルミニウム合金の競合析出現象の解析

横浜国立大学 廣澤渉一

<15:00-15:15 休憩>

15:15-16:00 アルミニウム合金表面のヘテロ構造化による高耐食化技術

芝浦工業大学 芹澤 愛